

第 59 回大阪大谷大学薬学部地域連携学術交流会

薬剤師は情報をどう扱うべきか

日時：2024年9月7日(土) 14:30～18:00

会場：大阪大谷大学 博物館 2F (11-201教室) ★ハイブリッド開催

参加費：500円 (学生は無料)

★現地参加者は当日受付にてオンライン参加者は事前振込にてお支払いください。

●プログラム

14:30～ 開会挨拶 薬学部長 西中 徹 教授

□講演 1 医療現場に情報を届ける立場から
～情報の読み解き方、伝え方の工夫～
日経ドラッグインフォメーション編集部

編集長 井田 恭子 先生

休憩

□講演 2 薬剤師って本当に必要？

薬剤師にとって、「書く」、「読む」、「伝える」とは？

～「アンサンブシンデレラ 病院薬剤師 葵みどり」に学ぶ～

焼津市立総合病院 薬剤部 主査 富野 浩充 先生

(アンサンブシンデレラ 医療原案担当者)

□パネルディスカッション

●本学術交流会の生涯研修認定単位は、日本薬剤師研修センター認定対象集合研修会として申請中です。
(日本薬剤師研修単位の交付は PECS(薬剤師研修・認定電子システム)を用いて行います。交付希望の先生方は事前に PECS への登録をよろしくお願いいたします。)

●参加登録方法 下記の申し込み専用サイトから氏名(フリガナ)、ご所属、連絡先(電話番号、メールアドレス)、希望の研修名等をご記入ください。(収集いたしました参加者の連絡先情報は本学薬学部にて厳重に管理し、本交流会の連絡ならびに今後の開催案内等に使用させていただきます。)

申し込み締め切りは、**8月29日(木)**

申し込みサイト(右のQRコードからもお申込できます)

<https://forms.gle/Kh2vcWLUPjweui5u9>



●会場までのアクセス

最寄り駅：近鉄長野線 滝谷不動駅 (滝谷不動駅から大阪大谷大学まで、約 500 m)

◎近鉄電車をご利用になる場合：大阪阿倍野橋駅(JR 天王寺駅に隣接)から準急河内長野行きに乗り換え滝谷不動駅へ(約 35 分)
または急行に乗り換えて古市駅で河内長野行きに乗り換え。

◎南海電車をご利用になる場合：南海高野線で河内長野駅へ行き、近鉄長野線に乗り換え滝谷不動駅へ(約 36 分)

●問合せ先：大阪大谷大学 薬学部 地域連携学術交流会 実行委員会 事務局

〒584-8540 大阪府富田林市錦織北 3-11-1 TEL: 0721-24-9580 E-mail:yakugaku@osaka-ohtani.ac.jp

第 59 回大阪大谷大学薬学部地域連携学術交流会

薬剤師は情報をどう扱うべきか

●講演要旨

□講演 1 医療現場に情報を届ける立場から

～情報の読み解き方、伝え方の工夫～

日経ドラッグインフォメーション編集部 編集長 井田 恭子 先生

「Amazonファーマシー始動」「長期収載品を選定療養化」——。ネット上には、日々、様々なニュースが流れ、SNSによる発信も活発に行われています。しかし、これらの中には偏った情報・誤った情報も時に混在します。巷にあふれる情報をどう読み解き、日常業務に活かしていけばいいのか、臨床の旬の話題から業界の最新トピックスまで幅広い情報を扱っている薬剤師向けメディアの立場からお話しします。

我々メディアには、読者に誤解を与えない報道、分かりやすい情報発信が求められます。講演当日は、患者説明や薬歴記載、トレーシングレポート作成などで役に立つような、文章執筆・編集のコツについてもご紹介できればと思います。

□講演 2 薬剤師って本当に必要？

薬剤師にとって、「書く」、「読む」、「伝える」とは？

～「アンサングシンデレラ 病院薬剤師 葵みどり」に学ぶ～

焼津市立総合病院 薬剤部 主査 富野 浩充 先生

(アンサングシンデレラ 医療原案担当者)

文章を書く仕事をしたい、という思いから日経 BP 社に単独突撃し、運良く日経 DI 本誌の一記事を書かせてもらうことができた。その仕事で初めての原稿料をもらったが、そこから様々な記事を書いてきて、ウェブサイト「日経 DI」の記事が編集者の目に止まり、アンサングシンデレラの監修につながった。

普段の講演では、アンサングシンデレラと絡めて薬剤師の必要性について話しているが、今回は文章のプロとの二本立てなので、基本的な文章の書き方から、発信する立場として気にとめていること、ここ20年の変遷などを検討したい。

●日本薬剤師研修センター研修単位の扱いについて

研修会申込時、薬剤師免許登録番号などをお間違いないように入力ください。入力いただいたデータを日本薬剤師研修センターへ提出させていただきます。研修会開始時間までに必ず入室してください。講演会視聴後、視聴者の入・退室時間を電子的に記録いたします。Zoomによる参加者につきまして、これまでのようにキーワードはありませんが、途中通信が途切れるなど不可抗力によりZoom接続が切断された場合は単位が付与されません。また、接続は必ず、一人につき1台の端末から視聴して下さい。Zoomでの参加者の名前は先生方のフルネームに変更願います。お名前の確認ができない場合や視聴時間が足りない場合も研修単位は付与されません。ログにて要件を満たした方には研修単位2単位が付与される予定です。

●オンライン受講の参加費(500円)について

下記に示した振込用紙記入例を参考に、指定の口座へお振込みください。なお、誠に恐縮ですが手数料は各自ご負担願います。お振込み確認後、講演会2日前を目安にZoomのURL、ID、PWを申し込み時に入力いただきましたメールにお送りいたします。

お振込み先: ゆうちょ銀行 口座記号番号 00970-8-279430 加入者名 大阪大谷大学

○振込用紙の通信欄には必ず「第59回大阪大谷大学薬学部地域連携学術交流会の参加費として」および「参加者氏名」をご記入ください。ご記入がない場合、事務局で振り込みの確認が遅れる原因となりますのでご協力をお願いいたします。

○振込手数料節約のために1枚の振込用紙にて複数の参加者の参加費を振り込んでいただくことも可能ですが、その場合、必ず通信欄に何名分もおよび参加者全員の氏名をご記入ください。

○お振り込みいただいた参加費につきましては、欠席の場合にも原則ご返金できませんので、ご了承ください。

○お振込みは8月29日(木)までに完了いただきますようご協力ください。

●振込用紙記入例

00	大阪	払 込 取 扱 票	
口 座 記 号 番 号		金 額	千 百 十 万 千 百 十 円
0 0 9 7 0 - 8 - 2 7 9 4 3 0		料 金	備 考
加入者名 大阪大谷大学		金額 ¥500	
通信欄 第59回大阪大谷大学薬学部地域連携学術交流会参加費 参加者: 大谷 太郎			
学籍番号 <input type="text"/>			
おところ (郵便番号 584 - 0066) 富田林市錦織北 3 - 11		日 附 印	
おなまえ 大谷 太郎 (電話番号 0721-24-0381)		料 金 円	
裏面の注意事項をお読みください。(ゆうちょ銀行) (承認番号大第41860号) これより下部には何も記入しないでください。			

切り取らないで出してください。

記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押してください。

必ず通信欄にご記入下さい。

振替払込請求書兼受領証

口座記号番号	0 0 9 7 0 - 8	加入者名	大阪大谷大学
	2 7 9 4 3 0	金額	千 百 十 万 千 百 十 円
		金額	備 考
		おなまえ	大谷 太郎
		ご依頼人	様
		料 金 (消費税込み)	日 附 印
		金 円	
		備 考	

この受領証は、大切に保管してください。

●問合せ先：大阪大谷大学 薬学部 地域連携学術交流会 実行委員会 事務局
〒584-8540 大阪府富田林市錦織北 3 - 11 - 1 TEL: 0721-24-9580 E-mail: yakugaku@osaka-ohtani.ac.jp